

# NEWSWAVE

新しい時代を切り拓く実践経営情報紙

著者 日本ビズアップ株式会社  
発行 税理士法人森田会計事務所  
〒630-8247  
奈良市油阪町456番地 第二森田ビル4F  
TEL (0742) 22-3578 FAX (0742) 27-1681

## グリコ置き菓子商法、年 45 億円売上 オフィス禁煙など健康ブーム後押し

今、オフィスの一角に「置き菓子」用、「オフィスグリコ」の小箱が目につく。「禁煙」時代になって「お菓子が売れた」という江崎グリコ。形はオフィス内委託販売だが、大都市部の会社を中心に約 10 万カ所に広がり、なんと年間売上額は 45 億円という“小さな稼ぎ頭”。

置き菓子のアイデアは富山の菓売り「配置菓商法」にヒントがあったという。置き菓のルーツは江戸時代だが、商人は「先用後利」（使ったお菓代は後でいただきます）の商法で現在のクレジット&リースの原型ともいわれる。

グリコ置き菓子が始まった 14 年ほど前は「オフィスでお菓子？」と男性社員は見向きもしなかった。しかし「禁煙」が徐々に徹底されてく

ると、お菓子の買い手は、タバコを吸いたい（または止めたい）男性中心になってきた。実は病院の「禁煙外来」では缶コーヒーとタバコは相関関係にあるとらんでいる。コーヒー党（またはコーラ党）には喫煙者が多いというデータもある。業界統計で 5～6 年前から自動販売機の缶コーヒーの売上げが落ち、かわって「紅茶」が、そして男性の甘党が伸びている。グリコは 3 年後に 3 割増やす計画という。置き売りビジネスは、サラダ宅配、総菜・コーヒーなどへと広がり追随する企業が増えた。世は健康ブームと宅配ブーム、それに意外だが「ビル中」（オフィス）にビジネスヒントがあるのではないか。

## 法人の申告漏れ、前年度比 25%減 6万6千件から総額 7515 億円を把握

国税庁がこのほど公表した今年 6 月までの 1 年間（2013 事務年度）における法人税調査事績によると、不正計算が想定されるなど調査必要度の高い 9 万 1 千法人（前年度比 2.8%減）を実地調査した結果、うち約 73%にあたる 6 万 6 千件（同 3.2%減）から前年度に比べ 24.8%減の総額 7515 億円の申告漏れを見つけた。追徴税額は 1591 億円（同 24.2%減）。1 件あたりの申告漏れ所得は同 22.6%減の 829 万円となる。

実地調査件数は、改正国税通則法の施行に伴い、昨年度から、課税理由の説明などの原則義務化で事務作業量が増加し、1 件当たりの調査期間が伸びた影響が今事務年度も続いている。また、調査した 18.6%（不正発見割合）に当たる 1 万 7

千件（前年度比 1.6%減）が故意に所得を仮装・隠ぺいするなどの不正を行っており、その不正脱漏所得は前年度比 20.8%減の 2184 億円、1 件当たりでは同 19.5%減の 1298 万円となった。

不正を業種別（調査件数 350 件以上）にみると、不正発見割合の高い 10 業種では、「バー・クラブ」が 47.3%で 12 年連続のワースト 1 位。「バー・クラブ」は、近年 25 年間で 24 回 1 位（唯一 2001 年度がワースト 2 位）という不名誉な記録を持つワースト業種の常連。以下、前年 4 位の「自動車修理」（29.8%）、同 2 位の「パチンコ」（29.0%）、同 5 位の「廃棄物処理」（28.4%）、同 3 位の「土木工事」（28.2%）の順で続く。